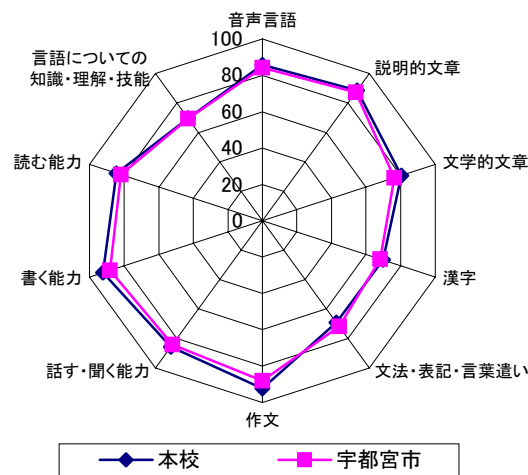


宇都宮市立上河内中学校第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	85.8	84.1
	説明的文章	88.6	87.3
	文学的文章	80.2	76.3
	漢字	69.7	68.1
	文法・表記・言葉遣い	69.2	71.8
	作文	92.2	88.0
観点別	話す・聞く能力	85.8	84.1
	書く能力	92.2	88.0
	読む能力	84.4	81.8
	言語についての知識・理解・技能	69.5	69.4



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (85.8%)	宇都宮市平均より高い状況にある。発表を聞く姿勢がよく、指導者の指示も的確にとらえ理解する力がある。 聞き取りテストの結果は好成績である。	聞く力が高まっているので、筋道を立てて話す学習訓練を継続して行いたい。定期テストの出題内容にも、聞き取りテストを継続して入れていきたい。
説明的文章 (88.6%)	この領域は本市の平均を上回り、良好な学習成果が出ていると分析できる。筆者の主張を的確にとらえている。	筆者の主張が、どのような組み立てで述べられているかの分析作業を深めさせ、自分の書く文章に取り入れられるところまで学習を深化させたい。
文学的文章 (80.2%)	この領域は本市の平均を上回り、良好な学習成果が出ていると分析できる。主人公の心情を十分理解させるためのワークシートの開発が効を奏したと考えられる。	主人公の心情を暗示させる表現にも着目させ、優れた文学作品にも触れさせていきたい。長期休業中の課題として、感受性の高い中学生を満足させる作品に取り組ませたい。
漢字 (69.7%)	この領域は本市平均よりやや低い。読書量の差が顕著に表れたと思われる。また、辞書をこまめに引く習慣が身につけていないことも原因の一つであると考えられる。	漢字の特色に今以上に着目させ、それを応用して文章中の漢字を読みこなす学習訓練をさせていきたい。また、授業では、机の上に辞書の準備をさせ、いつでも引いて確かめる習慣の定着も図りたい。
文法・表記・言葉遣い (69.2%)	約70パーセントの達成度であるが、表記の誤りを指摘したり、主語・述語のねじれのある文章を書いてしまったり、課題は多いと考えられる。また、文法を体系的に整理し、応用しようとする力がやや欠けている。	日常の言語活動の中で、より美しい日本語の使い手としての意識を向上させるための教材を開発していきたい。また、行事ごとの感想文の中から、誤用を提示し、どう表現すれば適切だったかを考えさせるなどの学習活動を意図的に展開していきたい。
作文 (92.2%)	学習内容の正答率が一番高い分野である。今までの国語科の学習の積み重ねが実を結んだと考えられる。	授業での作文指導をさらに継続させ、自分の考えを適切に相手に伝えるための力を養っていきたい。新聞への投稿や各種作文コンクールなどへの出品をとおして、自信を深めさせたい。